

■フランス：フランス政府が潮流発電プロジェクトの入札を計画

2013年9月17日の仏経済紙が伝えたところによると、フランス政府は2013年9月中にノルマンディー半島沖の潮流発電実証プロジェクトの入札（関心表明による一次選考）を実施する。3～4サイトに各10基程度の発電機が設置される計画で2015年には試験運用に入れる。ノルマンディー半島沖は欧州でも最も潮流が強い海域と言われ、エネルギー省によれば、潮流発電は洋上風力や波力発電より効率が良く、同海域で2016年までに商用向けに300～500万kWの開発が期待できる。フランスは海洋エネルギーからの電力買取を1.63ユーロ・セント（約2.12円）/kWhと定めているが、買取価格の見直しに加えて1サイトあたり5,000万ユーロ（約65億円）程度の補助金が出ると見込まれている。EDF、GDF Suez、アルストム、DCNS（仏軍用船舶建造）などが参加を予定している。近くのシェルブール港にはシーメンスなどによるタービン製造工場の建設計画もあり、潮流発電事業はフランス全体で8,000人の雇用をもたらすと試算されている。